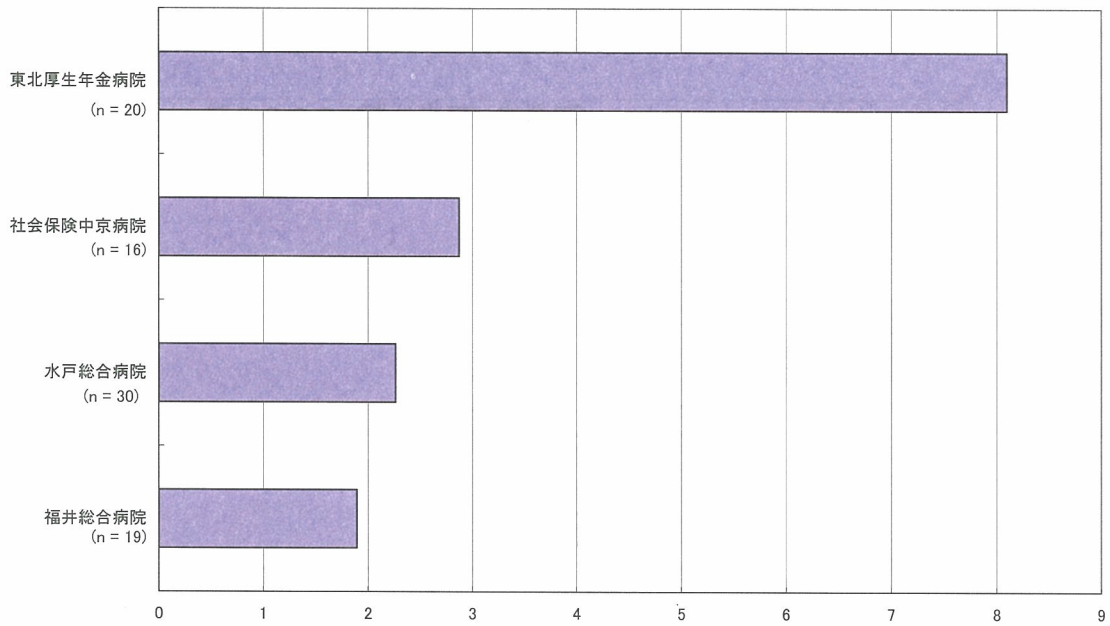
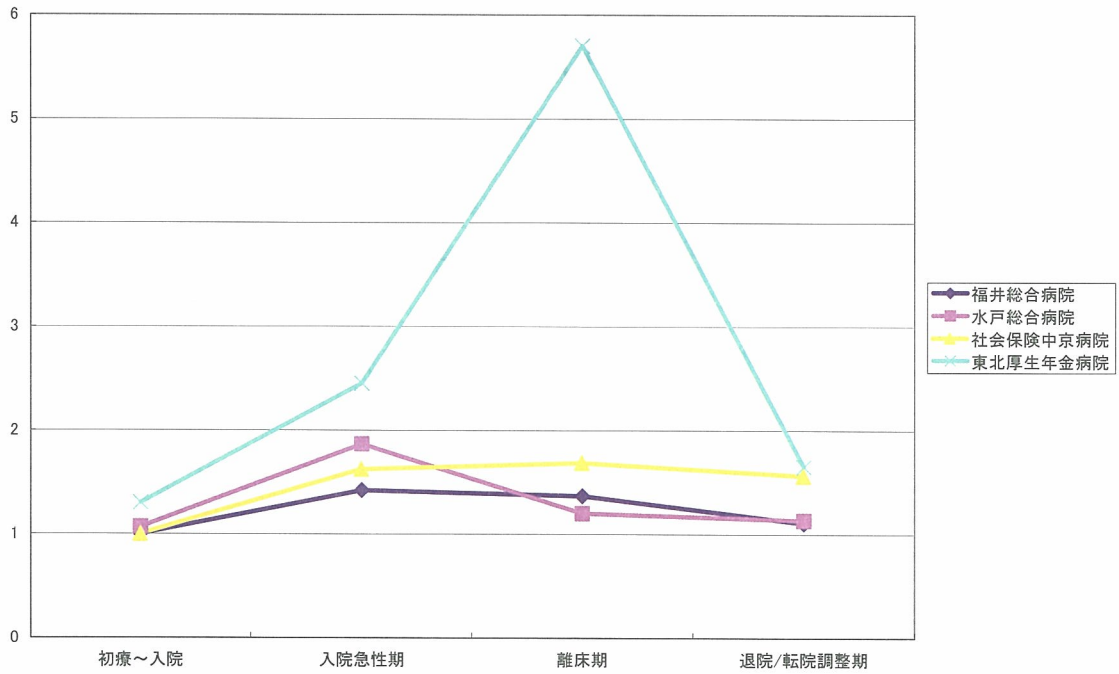


平均在院日数



軽度外傷の平均在院日数比較



軽度外傷のユニット滞在日数比較

【検証調査のデータ処理に関する注意事項】

データの外れ値（経過日数の逆転，滞在ユニット記載の不備など）が疑われる症例は除外した。

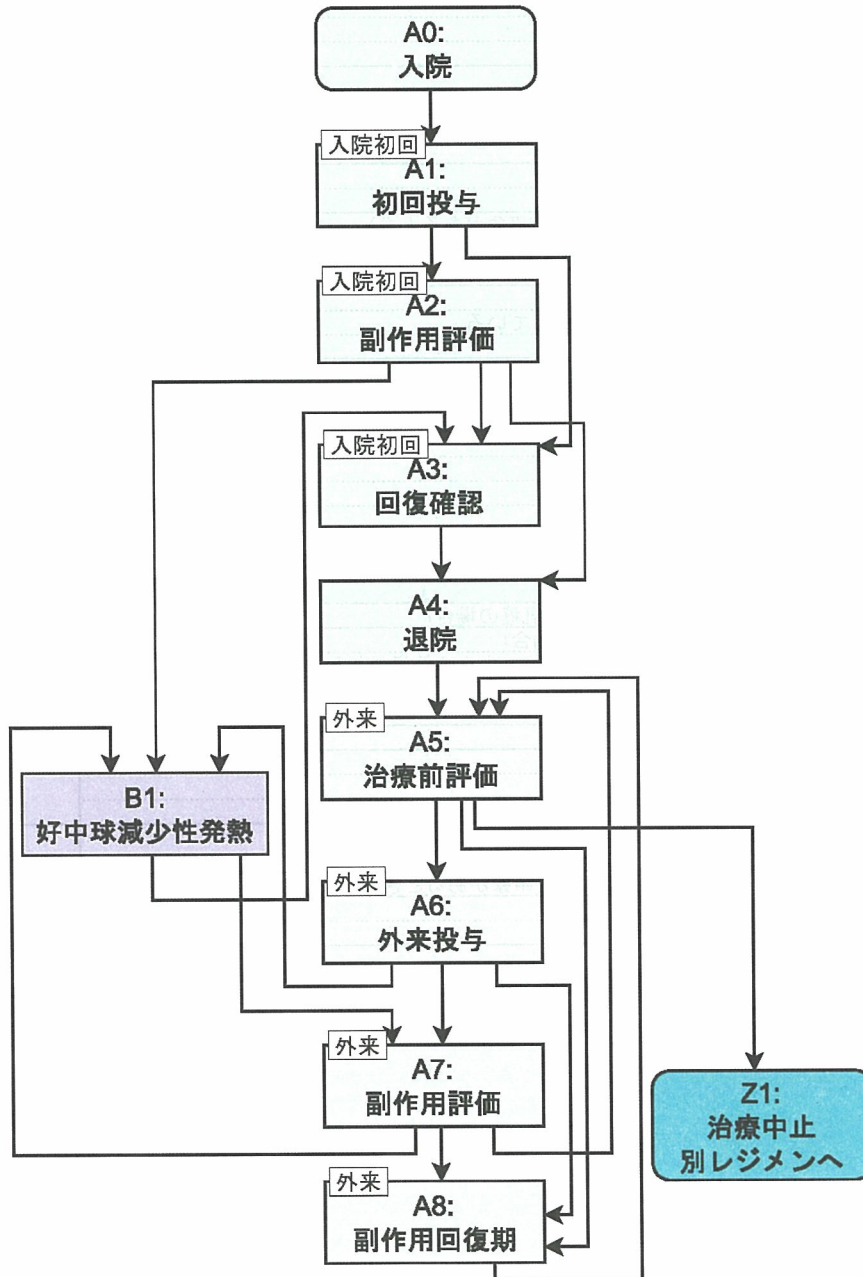
【平均在院日数，ユニット滞在日数に関する注意事項】

グラフには，通常のルート（A 系列など）をたどった症例のみを用いた。

従って，サンプル数（n）は検証を実施した全数ではない場合がある。

9) がん 乳がん化学療法 (AC療法)

臨床プロセスチャート (がん領域：乳がん化学療法 (AC療法) 2006年度)

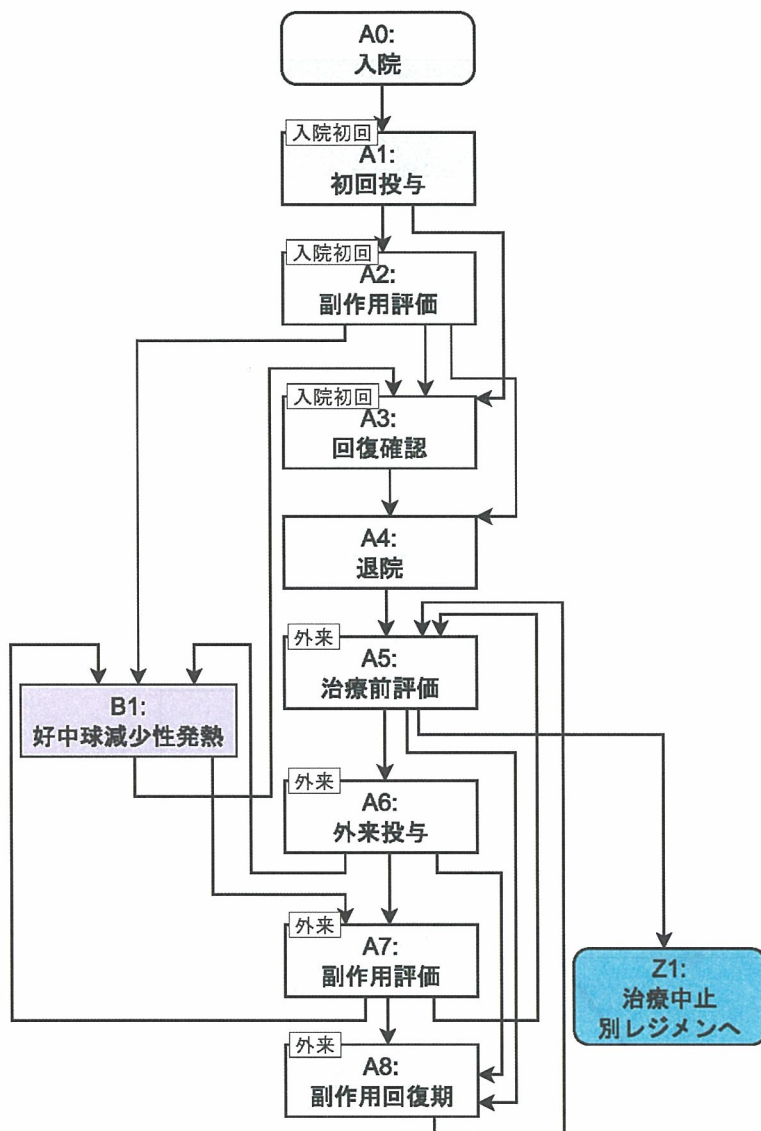


ユニット移行ロジック一覧（乳がん化学療法（AC療法））

2006

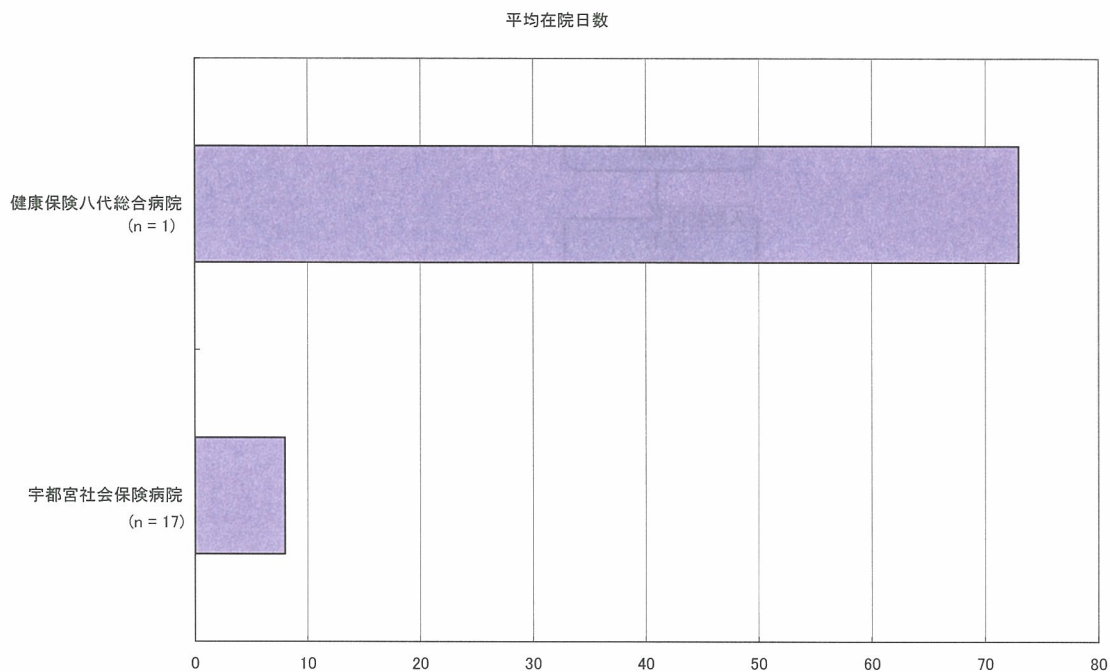
| 現ユニット | ユニット移行条件   | 移行先ユニット  |                   |
|-------|--|--|-------------------|
| A-0   | ..... 化学療法の説明・同意が得られている<br>..... and 化学療法に対する意欲が見られる<br>..... and 血液検査値に異常がない<br>..... and 心機能に異常がない<br>..... and 感染がない<br>..... or 主治医の判断                               | A-1  |                   |
| A-1   | AC投与後バイタルサインが安定<br>上記以外  | A-2<br>A-3   |                   |
| A-2   | 38.0度以上<br>and 好中球500/ $\mu$ l 以下<br>..... 有害事象がNCI-CTC Grade 1 以下<br>..... or 主治医の判断<br>上記以外（例えば、Grade2以上の有害事象があるとき）  | B-1<br>A-4<br>A-3  |                   |
| A-3   | ..... 全身状態が安定している<br>..... and 有害事象からの回復を確認  | A-4  |                   |
| A-4   | ..... 退院後の生活に支障がない<br>..... and 退院後の生活の注意事項を理解している<br>..... or 主治医の判断  | A-5  |                   |
| A-5   | 【再発治療以外】<br>38.0度以上<br>and 好中球500/ $\mu$ l 以下<br>..... 化学療法に対する意欲が見られる<br>..... and 血液検査値に異常がない<br>..... and 心機能に異常がない<br>..... and 感染がない<br>..... or 主治医の判断<br>上記に該当しない | B-1<br>A-6<br>A-8  |                   |
|       | 【再発治療の場合】<br>治療効果が認められる (non-PD, 再発乳癌の場合)<br>..... 治療効果がない (PD, 再発乳癌の場合)<br>..... or 患者が有害事象に耐えられない、等で中止の希望がある   | A-6<br>Z-1   |                   |
|       | A-6  | ..... AC投与後バイタルサインが安定<br>..... or 主治医の判断<br>上記以外   | A-7<br>A-8        |
|       | A-7  | ..... 全身状態が安定している<br>..... and 有害事象がNCI-CTC Grade 1 以下<br>..... or 主治医の判断<br>38.0度以上<br>and 好中球500/ $\mu$ l 以下<br>上記以外（例えば、Grade2以上の有害事象があるとき） | A-5<br>B-1<br>A-8 |
|       | A-8  | ..... 全身状態が安定している<br>..... and 有害事象からの回復を確認  | A-5               |
| B-1   | 38.0度未満<br>and 好中球500/ $\mu$ l 以上を確認 (A-2より)   | A-3  |                   |
|       | 38.0度未満<br>and 好中球500/ $\mu$ l 以上を確認 (A-7より)   | A-7  |                   |

臨床プロセスチャート (がん領域：乳がん化学療法 (AC療法) 2006年度

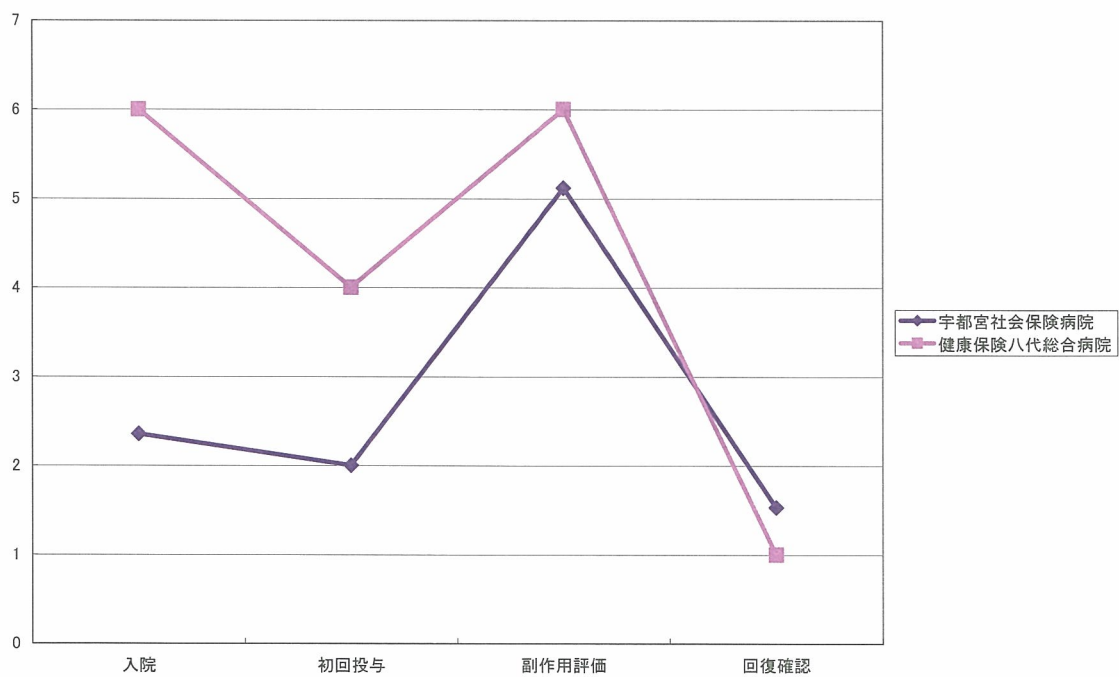


経路パターンとカバー率

| パス            | ルート  | 件数 | %      | カバー | カバー率  |
|---------------|--|----|--------|-----|-------|
| 乳がん化学療法(AC療法) | A0-A1-A2-A3-A4   | 18 | 40.0%  | ○   | 93.3% |
|               | A0-A1-A2-A4  | 13 | 28.9%  | ○   |       |
|               | A0-A1-A2-B1-A3-A4  | 4  | 8.9%   | ○   |       |
|               | A0-A1-A2-B1-A3   | 3  | 6.7%   | ○   |       |
|               | A0-A1-A3-A4-A5   | 3  | 6.7%   | ○   |       |
|               | A0-A1-A3-A4  | 1  | 2.2%   | ○   |       |
|               | A0-A5-A6-A7-A8-A5-A6                                     | 2  | 4.4%   | ×   |       |
|               | A0-A1-A2-A3-A4-A5-A0-A1-A2-A3-A4-A5-A7-A0-A1-A2-A3-A4-A5 | 1  | 2.2%   | ×   |       |
|               | 合計   | 45 | 100.0% |     |       |



乳がん化学療法（AC療法）の平均在院日数比較



乳がん化学療法（AC療法）のユニット滞在日数比較

【検証調査のデータ処理に関する注意事項】

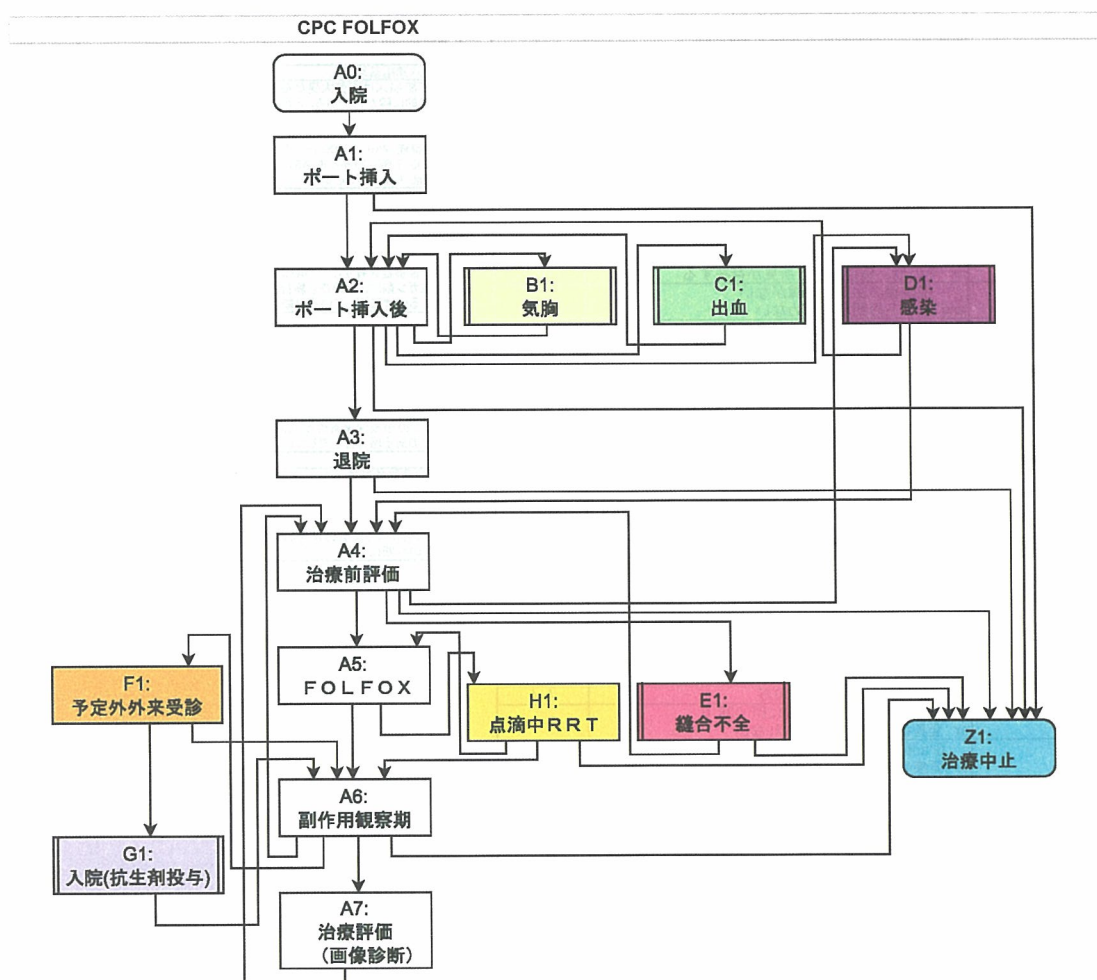
データの外れ値（経過日数の逆転，滞在ユニット記載の不備など）が疑われる症例は除外した。

【平均在院日数，ユニット滞在日数に関する注意事項】

グラフには，通常のルート(A系列など)をたどった症例のみを用いた。

従って，サンプル数 (n) は検証を実施した全数ではない場合がある。

大腸がん化学療法 (FOLFOX)



移行ロジック一覧(がん領域:大腸がん化学療法(FOLFOX)) 2006年

| 現ユニット | 移行ロジック   | 移行先                      |
|-------|--|--------------------------|
| A-0   | 適応判断<br>FOLFOXの適応基準を満たす<br>and FOLFOXの除外基準を認めない<br>and ポート設置の除外基準を認めない | A-1                      |
| A-1   | ポート設置が終了する<br>ポート設置が不能<br>ポートの閉塞                                       | A-2<br>Z-1               |
| A-2   | 退院<br>気胸<br>出血<br>感染   | Z-1<br>A-3<br>B-1<br>D-1 |
| A-3   | 退院<br>ポート閉塞  | A-4<br>Z-1               |
| A-4   | FOLFOX投与が可能である<br>ポート設置創部の離開<br>ポート感染<br>治療中止                          | A-5<br>E-1<br>D-1<br>Z-1 |
| A-5   | FOLFOX投与が終了する<br>点滴中RRT  | A-6<br>H-1               |
| A-6   | 骨髄抑制回復<br>骨髄抑制期の発熱<br>治療中止・変更  | A-4<br>F-1<br>Z-1        |
| A-7   | 画像評価<br>画像評価終了<br>治療中止・変更  | A-7<br>A-4<br>Z-1        |
| B-1   | 気胸消失   | A-2                      |
| C-1   | 止血   | A-2                      |
| D-1   | 感染徴候の消失<br>感染徴候の消失   | A-2<br>A-4               |
| E-1   | 創が開いてない<br>回復せず  | A-4<br>Z-1               |
| F-1   | 外来治療継続<br>好中球減少性発熱   | A-6<br>G-1               |
| G-1   | 回復   | A-6                      |
| H-1   | 回復し、投与継続<br>回復し、投与中止<br>回復せず   | A-5<br>A-6<br>Z-1        |

注) 退院後のユニットでは、患者のフィジカルステータスなどに応じて適宜再入院することも可能

大腸がん(化学療法)パス適応基準  
切除不能もしくは再発大腸がんである  
組織学的に腺がんであることが確認されている  
Performance statusが0-2である  
主要臓器機能が保たれている  
骨髄機能:WBC >3000/mcl, Plt >100000/mcl  
肝機能:T.Bil <2.0mg/dl, AST <100IU/l, ALT <100IU/l  
腎機能:Cre <1.2mg/dl

FOLFOX適応基準  
切除不能もしくは再発大腸がんである  
組織学的に腺がんであることが確認されている  
Performance statusが0-2である  
主要臓器機能が保たれている  
骨髄機能:WBC >3000/mcl, Plt >100000/mcl  
肝機能:T.Bil <2.0mg/dl, AST <100IU/l, ALT <100IU/l  
腎機能:Cre <1.2mg/dl

FOLFOX除外基準  
化学療法に使用する薬剤にアレルギーがある  
日常生活に影響を及ぼす末梢神経障害を有する  
活動性のある感染症を有している  
重要な合併症を有する:下痢・消化管出血病変・高度心機能障害など  
他の抗がん剤による治療を施行されているもしくは前回の治療の治療関連毒性から回復していない  
妊婦あるいは妊娠している可能性がある

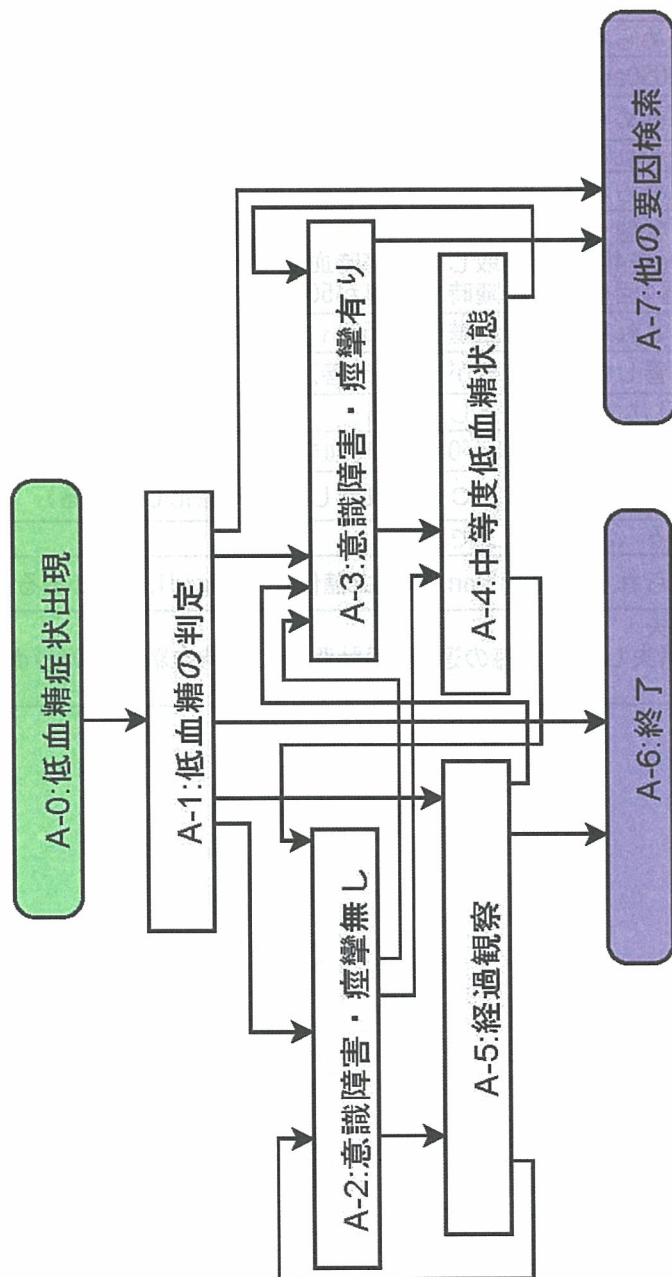
FOLFOX開始基準  
Performance statusが0-2である  
主要臓器機能が保たれている  
骨髄機能:WBC >3000/mcl, Plt >100000/mcl  
肝機能:T.Bil <2.0mg/dl, AST <100IU/l, ALT <100IU/l  
腎機能:Cre <1.2mg/dl  
前回までの治療関連毒性が血液毒性でGrade 3以下かつ非血液毒性でGrade 2以下である  
活動性のある感染症を有しない

ポート設置除外基準  
活動性の感染症を有する  
ポート設置部周囲の感染症  
ポート設置部のケアができない  
ポート設置による患者の精神的負担が大きい  
主治医の判断による

大腸がん化学療法（FOLFOX）は、経路パターンの解析は複雑なため、カバー率・滞在日数解析法を検討中であるため、今年度結果の掲載を見送る。



臨床プロセスチャート (糖尿病:低血糖) 2006年



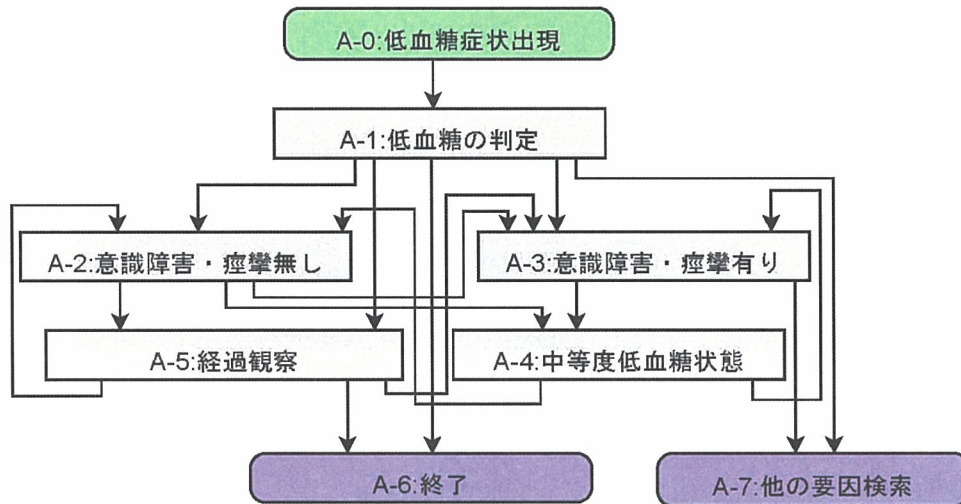
移行ロジック一覧（糖尿病：低血糖）

2006年度

| 現ユニット | 移行条件  | 移行先 |
|-------|---|-----|
| A-0   | 低血糖症状が疑われるor意識障害が認められる（JCS1以上）  | A-1 |
| A-1   | 意識障害が認められない<br>（JCS0で随時血糖値70mg/dl未満 or 低血糖症状有りで随時血糖値80mg/dl未満）                        | A-2 |
|       | 意識障害が認められる（JCS1以上 or 随時血糖値80mg/dl未満）  | A-3 |
|       | 要経過観察（JCS0and随時血糖値70～150mg/dl）  | A-5 |
|       | 低血糖症状が認められない（JCSが0and随時血糖値150mg/dl以上）   | A-6 |
|       | 他の原因が疑われる   | A-7 |
| A-2   | 意識障害が認められる（JCS1以上である）   | A-3 |
|       | 点滴を要する状態<br>（ブドウ糖10gを4回経口摂取しても随時血糖値150mg/dl未満 or<br>ブドウ糖10gを1回摂取後、随時血糖値が50mg/dl未満である） | A-4 |
|       | 低血糖が改善される（随時血糖値が150mg/dl以上である）  | A-5 |
| A-3   | 意識障害が改善した（JCSが1段階改善）  | A-4 |
|       | JCSが改善しない or 悪化している   | A-7 |
| A-4   | 持続点滴が不要な状態（JCSが0and随時血糖値が150mg/dl以上）  | A-2 |
|       | 意識障害が悪化している（JCSが改善しないor悪化している）  | A-3 |
| A-5   | 意識障害がある（JCSが1以上である）   | A-3 |
|       | 低血糖が認められる（JCSが0and随時血糖値が150mg/dl未満である）  | A-2 |
|       | 低血糖症状消失<br>（自覚症状が消失し、15分毎の連続4回計測にて随時血糖値150mg/dl以上である）                                 | A-6 |

# 臨床プロセスチャート（糖尿病：低血糖）

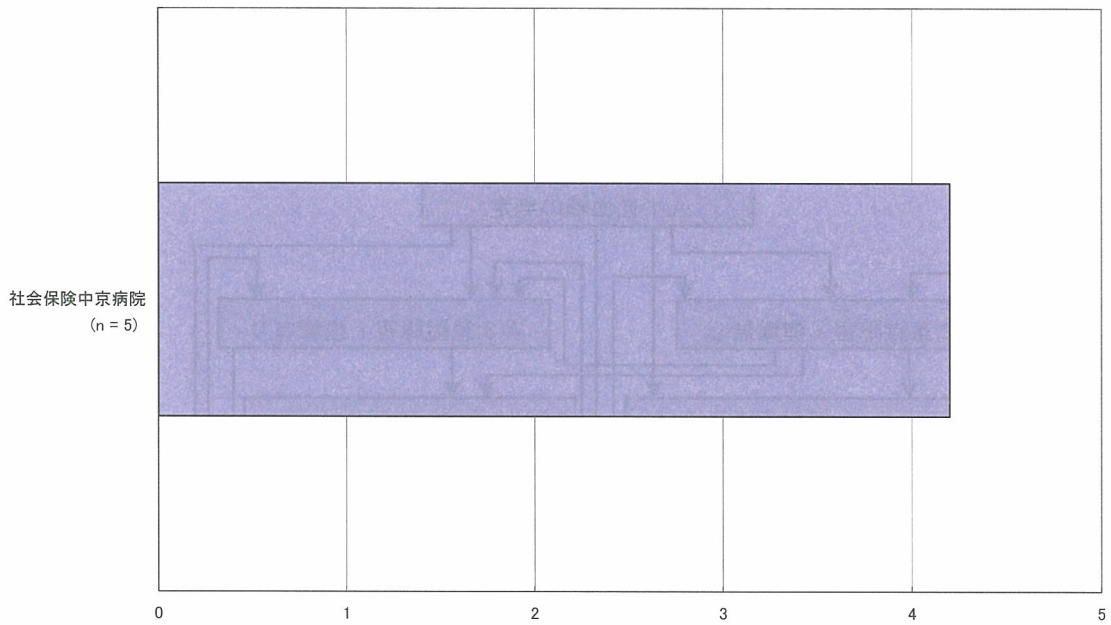
2006年



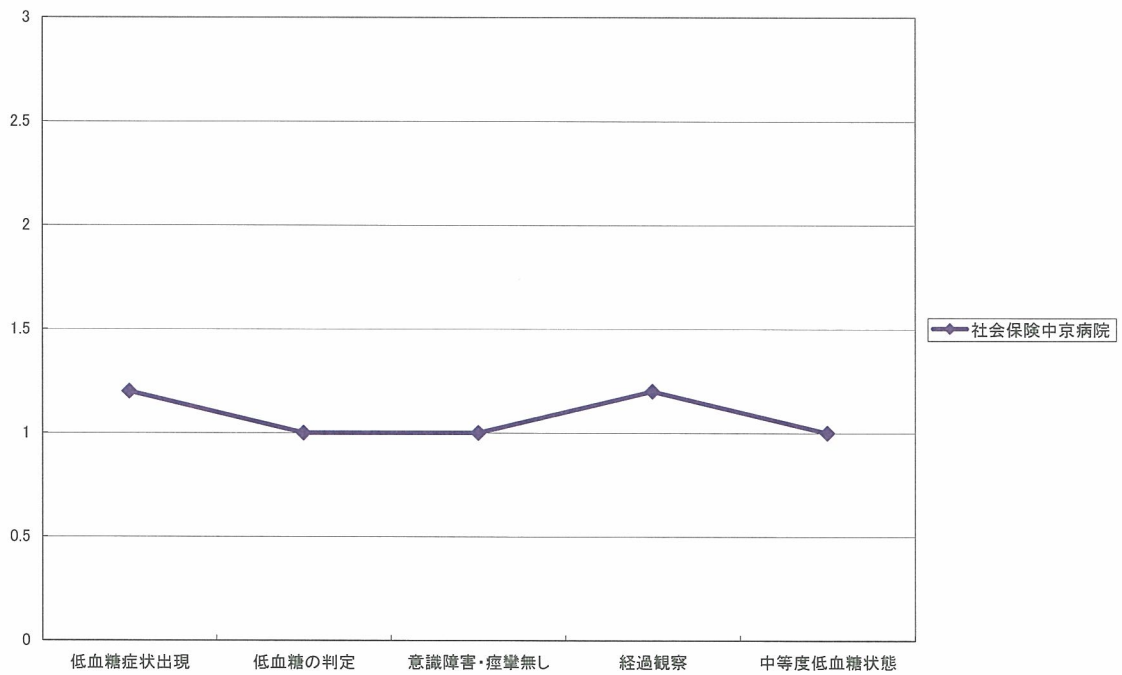
経路パターンとカバー率

| パス  | ルート                  | 件数 | %     | カバー    | カバー率  |
|-----|----------------------|----|-------|--------|-------|
| 低血糖 | A0-A1-A3-A4-A2-A5-A6 | 16 | 33.3% | ○      | 68.8% |
|     | A0-A1-A2-A5-A6       | 5  | 10.4% | ○      |       |
|     | A0-A1-A2-A4-A2-A5-A6 | 4  | 8.3%  | ○      |       |
|     | A0-A1-A7             | 4  | 8.3%  | ○      |       |
|     | A0-A1-A3-A4-A3-A7    | 1  | 2.1%  | ○      |       |
|     | A0-A1-A3-A7          | 1  | 2.1%  | ○      |       |
|     | A0-A1-A5-A6          | 1  | 2.1%  | ○      |       |
|     | A0-A1-A6             | 1  | 2.1%  | ○      |       |
|     | A0-A1-A2-A3-A4-A5    | 5  | 10.4% | ×      |       |
|     | A0-A4-A5             | 3  | 6.3%  | ×      |       |
|     | A0-A1-A4-A5          | 2  | 4.2%  | ×      |       |
|     | A0-A1-A4-A5-A4-A5    | 2  | 4.2%  | ×      |       |
|     | A0-A1-A2-A3-A5       | 1  | 2.1%  | ×      |       |
|     | A0-A1-A3-A2-A5-A6    | 1  | 2.1%  | ×      |       |
|     | A0-A2-A2-A6          | 1  | 2.1%  | ×      |       |
|     | 合計                   |    | 48    | 100.0% |       |

平均在院日数



低血糖の平均在院日数比較



低血糖のユニット滞在日数比較

【検証調査のデータ処理に関する注意事項】

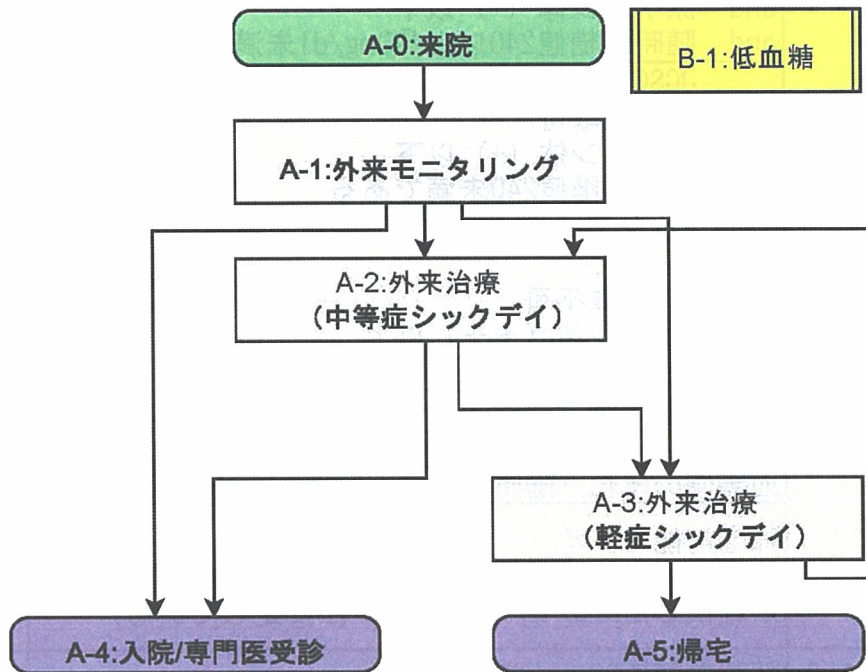
データの外れ値（経過日数の逆転，滞在ユニット記載の不備など）が疑われる症例は除外した。

【平均在院日数，ユニット滞在日数に関する注意事項】

グラフには，通常のルート(A 系列など)をたどった症例のみを用いた。

従って，サンプル数 (n) は検証を実施した全数ではない場合がある。

臨床プロセスチャート(糖尿病:シックデイ) 2006年度



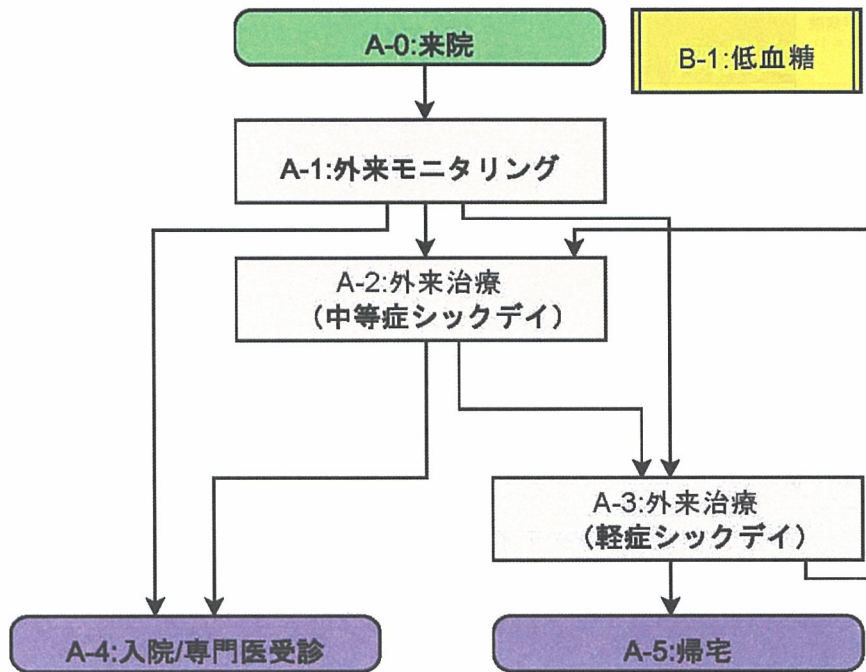
移行ロジック一覧（糖尿病:シックデイ）

2006年度

| 現ユニット             | 移行条件  | 移行先    |
|-------------------|---|--------|
| A-0               | 糖尿病患者が体調不良にて来院する  | A-1    |
| A-1               | JCS0<br>and 経口摂取可<br>and 尿ケトン体 (+) 以下<br>and 随時血糖値240以上400mg/dl未満である                    | A-2    |
|                   | JCS0<br>and 経口摂取可<br>and 尿ケトン体 (+) 以下<br>and 随時血糖値240未満である                              | A-3    |
|                   | シックデイの誘因が他科疾患である<br>or JCS1以上<br>or 経口摂取不可<br>or 尿ケトン体 (++) 以上<br>or 随時血糖値400mg/dl以上である | A-4    |
| A-2               | 血糖値の改善（随時血糖値が240mg/dl未満である）   | A-3    |
|                   | 血糖値の悪化（随時血糖値が400mg/dl以上である）   | A-4    |
| A-3               | 血糖値の悪化（随時血糖値が240mg/dl以上である）   | A-2    |
|                   | 帰宅可能である<br>（2回連続で随時血糖値が240mg/dl未満and自覚症状が軽快したandバイタルサインが安定している）                         | A-5    |
| A-1 A-2 A-3<br>共通 | 随時血糖値80mg/dl未満<br>or 低血糖症状（冷汗、ふるえ、動悸等の症状がある）  | B-1*併用 |

\*印のユニットは、移行ロジックに適応した症状となった場合、メインプロセスの流れに並列して走るユニット

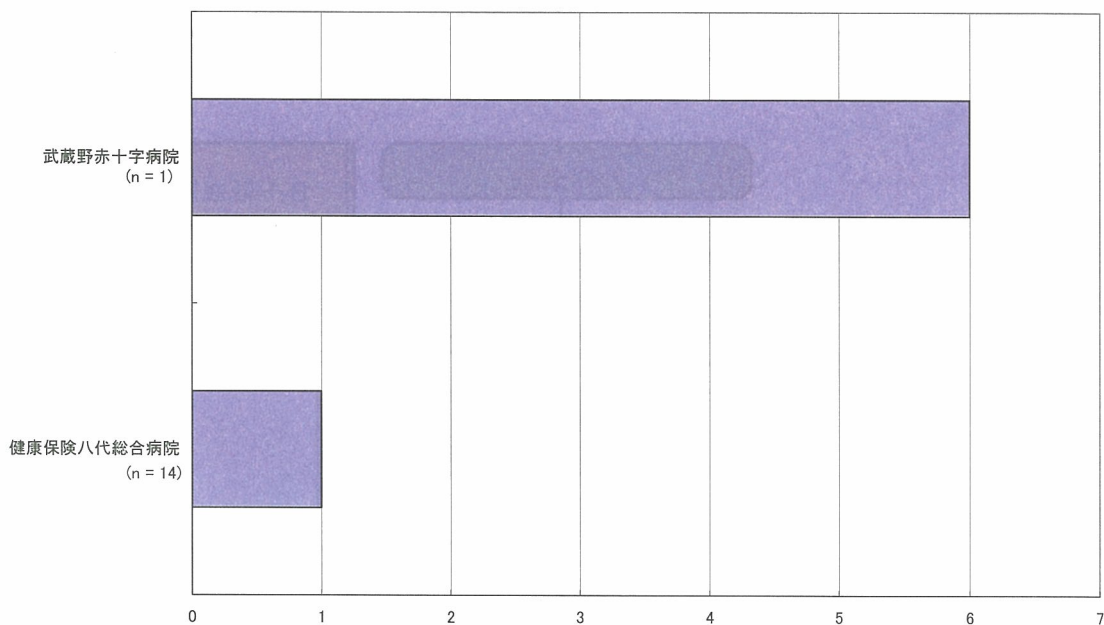
臨床プロセスチャート(糖尿病:シックデイ) 2006年度



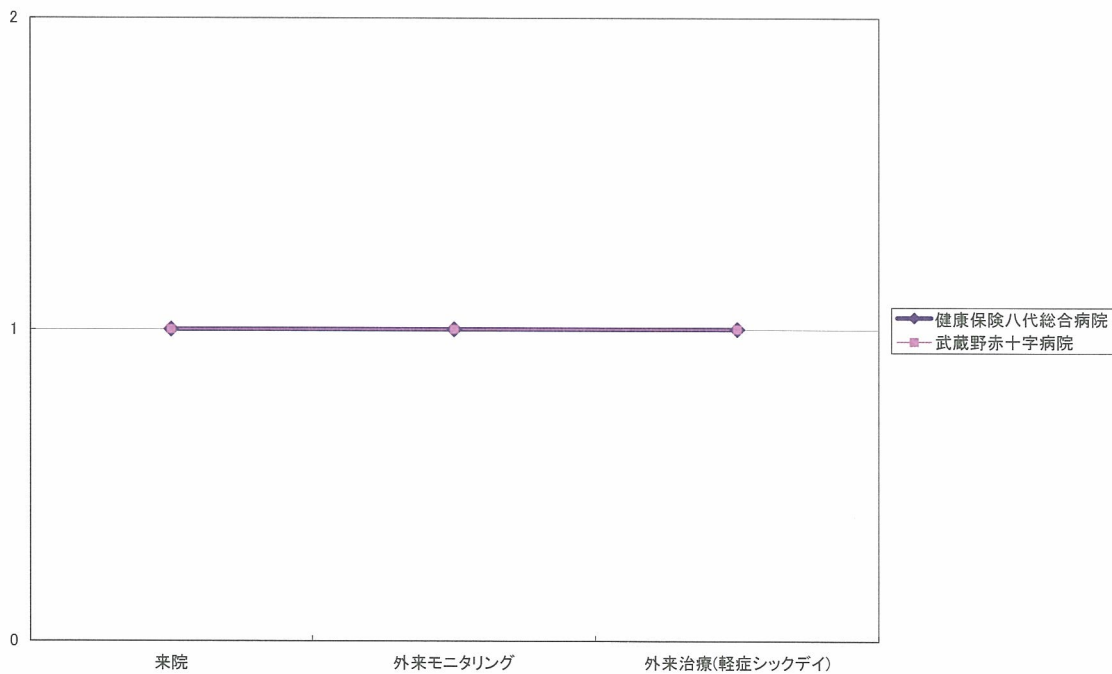
経路パターンとカバー率

| パス    | ルート            | 件数 | %      | カバー | カバー率   |
|-------|----------------|----|--------|-----|--------|
| シックデイ | A0-A1-A3-A5    | 14 | 70.0%  | ○   | 100.0% |
|       | A0-A1-A2-A3-A5 | 3  | 15.0%  | ○   |        |
|       | A0-A1-A4       | 3  | 15.0%  | ○   |        |
|       | 合計             | 20 | 100.0% |     |        |

平均在院日数



シックデイの平均在院日数比較



シックデイのユニット滞在日数比較

【検証調査のデータ処理に関する注意事項】

データの外れ値（経過日数の逆転，滞在ユニット記載の不備など）が疑われる症例は除外した。

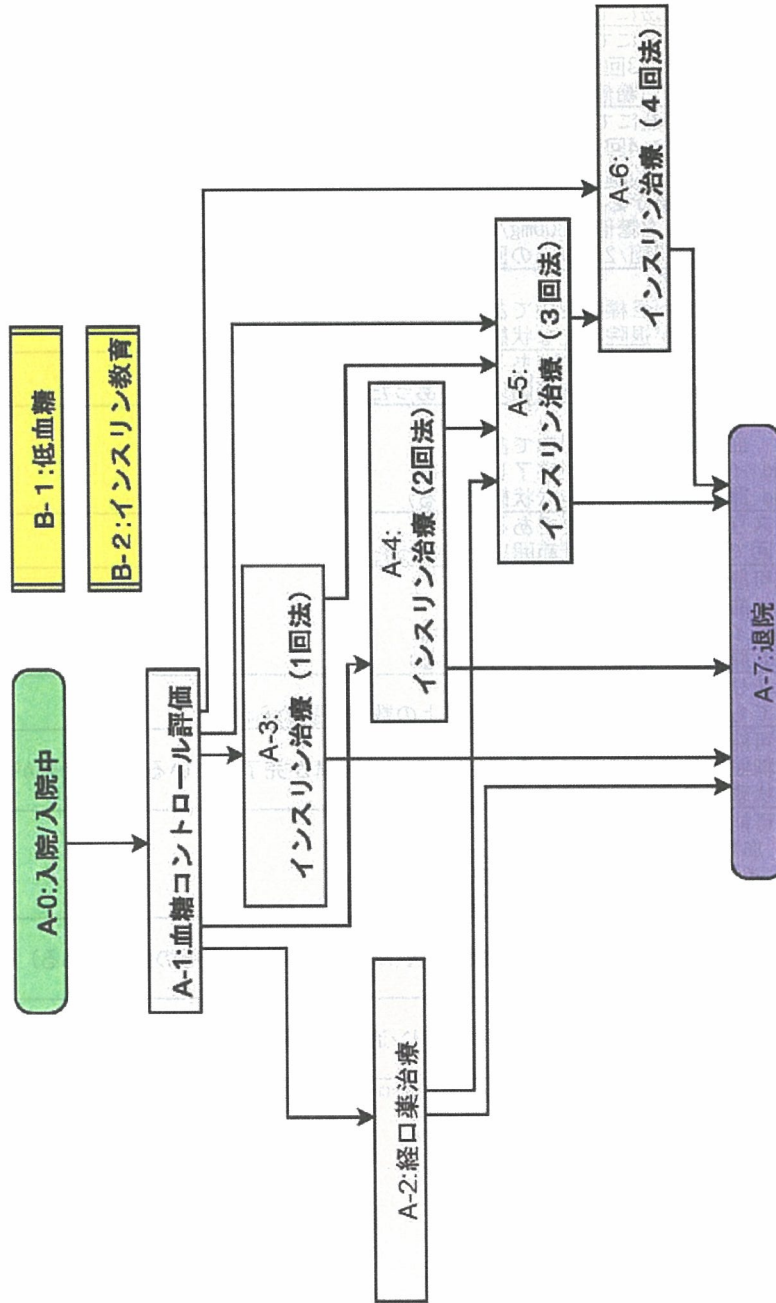
【平均在院日数，ユニット滞在日数に関する注意事項】

グラフには，通常のルート(A系列など)をたどった症例のみを用いた。

従って，サンプル数 (n) は検証を実施した全数ではない場合がある。



臨床プロセスチャート(糖尿病:ステロイド開始時血糖コントロール) 2006



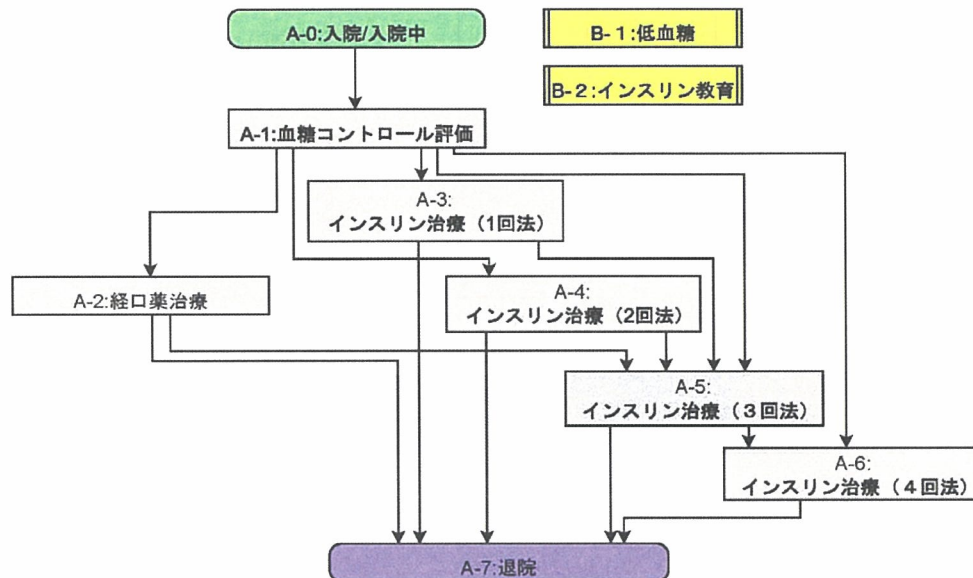
移行ロジック一覧（糖尿病：ステロイド開始時血糖コントロール）

2006年度

| 現ユニット                                 | 移行条件  | 移行先    |
|---------------------------------------|---|--------|
| A-0                                   | ステロイドの使用にて血糖コントロールが必要な身体状態である   | A-1    |
| A-1                                   | 経口薬でステロイドが開始できる<br>(経口薬で血糖値が目標範囲内である)   | A-2    |
|                                       | インスリン1回法にて血糖値が目標範囲内である  | A-3    |
|                                       | インスリン2回法にて血糖値が目標範囲内である  | A-4    |
|                                       | インスリン3回法にて治療中、またはインスリン導入が必要である<br>(インスリン3回法にて治療中で朝食前血糖値が目標範囲内である<br>or 経口薬で血糖値が目標範囲以上である) | A-5    |
|                                       | インスリン4回法にて治療中である、またはインスリン4回法が必要である<br>(インスリン4回法にて治療中である<br>or インスリン3回法にて朝食前血糖値が目標範囲以上である) | A-6    |
|                                       | インスリン治療が必要である<br>(一回でも血糖値が300mg/dl以上測定された<br>or 血糖値が3回/2日以上回数で目標範囲以上の数値が認められた)            | A-5    |
| A-2                                   | 退院可能である<br>(血糖値が目標範囲内である<br>and 原疾患が退院可能な状態である)   | A-7    |
| A-3                                   | インスリン3回法が必要である<br>(一回でも血糖値が目標範囲以上であった)  | A-5    |
|                                       | 退院可能である<br>(血糖値が目標範囲内である<br>and インスリン教育が完了している<br>and 原疾患が退院可能な状態である)                     | A-7    |
| A-4                                   | インスリン3回法が必要である<br>(一回でも血糖値が目標範囲以上であった)  | A-5    |
|                                       | 退院可能である<br>(血糖値が目標範囲内である<br>and インスリン教育が完了している<br>and 原疾患が退院可能な状態である)                     | A-7    |
| A-5                                   | インスリン4回法が必要である<br>(1回でも朝食前血糖値が140mg/dl以上の数値が認められた)  | A-6    |
|                                       | 退院可能である<br>(血糖値が目標範囲内であるandインスリン教育が完了しているand原疾患が退院可能な状態である)                               | A-7    |
| A-6                                   | 退院可能である<br>(血糖値が目標範囲内である<br>and インスリン教育が完了している<br>and 原疾患が退院可能な状態である)                     | A-7    |
| A-1<br>A-2<br>A-3<br>A-4<br>A-5<br>共通 | 随時血糖値80mg/dl未満 or 低血糖症状(冷汗、ふるえ、動悸等の症状がある)   | B-1*併用 |
|                                       | インスリン治療が開始された or インスリン治療中である  | B-2*併用 |

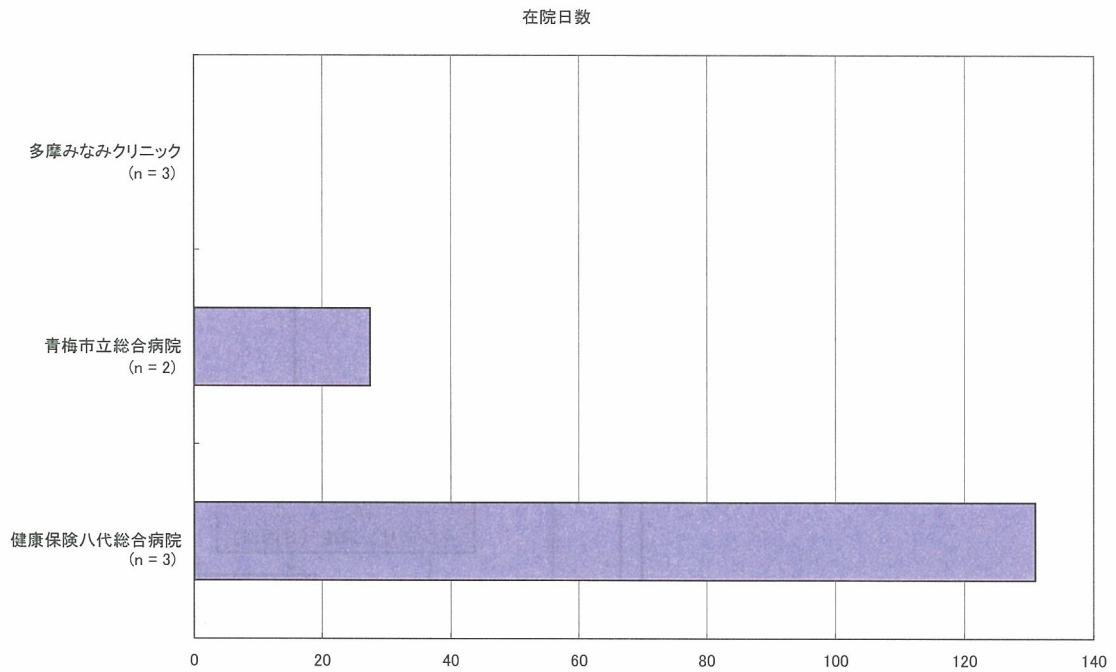
\*印のユニットは、移行ロジックに適用する場合、メインプロセスの流れに並列して走るユニット

臨床プロセスチャート(糖尿病:ステロイド開始時血糖コントロール) 2006

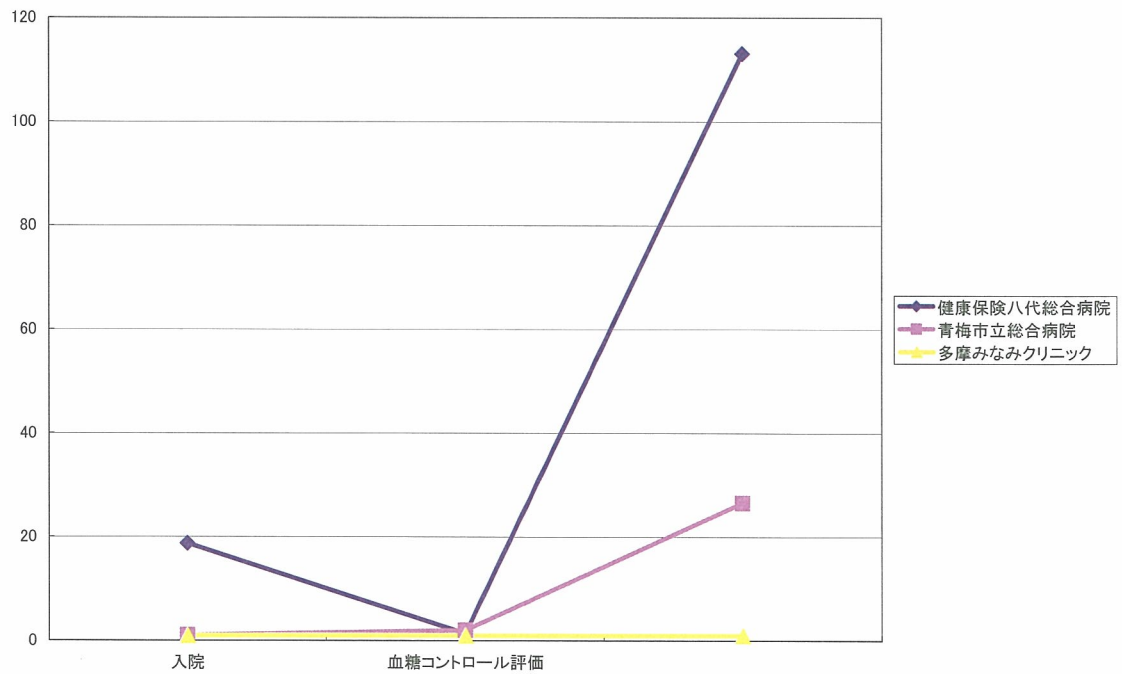


経路パターンとカバー率

| パス               | ルート         | 件数 | %      | カバー | カバー率   |
|------------------|-------------|----|--------|-----|--------|
| ステロイド開始時血糖コントロール | A0-A1-A6-A7 | 8  | 66.7%  | ○   | 100.0% |
|                  | A0-A1-A5-A7 | 3  | 25.0%  | ○   |        |
|                  | A0-A1-A4-A7 | 1  | 8.3%   | ○   |        |
|                  | 合計          | 12 | 100.0% |     |        |



ステロイド開始時血糖コントロールの平均在院日数比較



ステロイド開始時血糖コントロールのユニット滞在日数比較

【検証調査のデータ処理に関する注意事項】

データの外れ値（経過日数の逆転，滞在ユニット記載の不備など）が疑われる症例は除外した。

【平均在院日数，ユニット滞在日数に関する注意事項】

グラフには，通常のルート（A系列など）をたどった症例のみを用いた。

従って，サンプル数（n）は検証を実施した全数ではない場合がある。